

巻頭特集

## 東京2020大会 機運醸成に向けた装飾展開 06

特集

ショールーム探訪 16

新作施設

キュープラザ池袋 22

表紙「ミマキエンジニアリング 新製品紹介」 解説 28-29ページ



省人化&効率化による働き方改革と環境負荷低減を実現



**CJV300PlusSeries**  
CJV300-130/160Plus



**JV300PlusSeries**  
JV300-130/160Plus



**CG-FXII Plus series**  
CUTTING PLOTTER



暖簾 / H1200×W1800mm ベース：エステルスラブ 表示：両面染め抜き



看板 / H590×W590×D6mm ベース：タイル 表示：銀箔

## 店舗ファサード 第2回

# 鴨しゃぶ&町家カフェ「空」

京都府京都市南区東寺東門前町 33

- 施 主：空 株式会社 代表取締役 木原由佳
- 企 画・設 計：伊勢建築事務所 株式会社 木原俊彦
- デ ザ イ ン：伊勢建築事務所 株式会社 木原俊彦
- 施 工：伊勢建築事務所 株式会社



突出看板 / H450×W450×D100mm ベース：アルミ 表示：瓦葺きの屋根は銅線を使って固定している。  
乳半アクリル



個室の床面には信楽焼のタイルを敷き詰めた。

## 町家づくりの店構えと 信楽焼を敷き詰めた床

平成 30 年度京都景観賞の屋外広告物部門で優良意匠屋外広告物に指定された「鴨しゃぶ&町家カフェ 空」。昨年 4 月 7 日、京都府京都市にオープンした鴨すき鍋が名物の鴨料理店だ。世界遺産である東寺の目前に立地し、店名は東寺ゆかりの弘法大師・空海から一字をとっている。

店舗の設計デザインの監修は、脊椎脊髄疾患のスペシャリストとして国内外のメディアから注目される京都木原病院理事長・院長の木原俊彦氏。同院へメディカルツーリズムに

訪れる患者が増えてきたことから食事や面会の場を作りたいという想いが芽生え、店づくりを始めた。店舗には、細部まで徹底的に本物へのこだわりを追求した意匠を凝らしている。

ファサードは、100 年以上続いた町屋づくりの酒屋を踏襲。全体をモノトーンにまとめ、店名である“空”を引き立たせた。屋根は瓦葺きで、昔ながらの手法で焼き上げた瓦を銅線で組み上げている。

内装は、書家の金澤翔子氏が揮毫した“空”の書を元に構想を練り、和モダンにリノベーション。店内のサインを立体的に製作するなど遊び心も盛り込んでいる。床面に敷き詰められた信楽焼のタイルは、滋賀県の窯元でオー

ダーメイド製作。美しいグラデーションになるように色見本を作り、実際の見え方の検証まで行った。

木原氏は「滋賀県は医師として長く勤務していたため地元意識があり、県の伝統工芸品をふんだんに使いたいと思った。信楽焼は使っていくうちに色や質感が変化する味の良さが特長だ」と話す。

周辺は、歴史的景観を保護するための規制が厳しく、土地代も高いため、飲食店やコンビニなどの出店が少ない。木原氏は「地域の活性化につながるため、“空”を世界へ発信できる場に育て、日本の文化を伝えていきたい」と語り、世界遺産を有する街としての発展にも想いを広げた。



2階にあるテラス席。



トイレピクトサイン／H140×W100×D5mm ベース：タモ



トイレピクトサイン／H130×W100×D5mm ベース：タモ



ピクトサイン／H40×W160×D5mm ベース：タモ



明るい印象のテーブル席は、居心地の良い空間を作り上げている。